

# Torsion subgroups of elliptic curves in elementary abelian 2-extensions of $\mathbf{Q}$

東北大学大学院理学研究科 藤田 育嗣 (Yasutsugu Fujita)

Mathematical Institute of Tohoku University

## 1 序

$E$  を有理数体  $\mathbf{Q}$  上定義された楕円曲線とすると、Mazur の定理により、群  $E(\mathbf{Q})_{\text{tors}}$  は次のいずれかに同型である：

$$\begin{aligned} \mathbf{Z}/N\mathbf{Z}, & & N = 1, \dots, 10, 12, \\ \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/2N\mathbf{Z}, & & N = 1, 2, 3, 4. \end{aligned}$$

$F$  を  $\mathbf{Q}$  の最大初等アーベル 2 拡大体、即ち、 $F := \mathbf{Q}(\{\sqrt{m} : m \in \mathbf{Z}\})$  とすると、楕円曲線  $E/\mathbf{Q}$  の  $F$  上の torsion 部分群  $E(F)_{\text{tors}}$  は、高々 31 種類しかないことが知られている：

**定理 1.1.** ([3, Theorem])  $E$  を  $\mathbf{Q}$  上定義された楕円曲線とし、 $F := \mathbf{Q}(\{\sqrt{m} ; m \in \mathbf{Z}\})$  とおく。このとき  $E(F)_{\text{tors}}$  は次の 31 種類の群のいずれかに同型である：

$$\begin{aligned} \mathbf{Z}/2^{a+b}\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/2^a\mathbf{Z}, & & a = 1, 2, 3, b = 0, 1, 2, 3, \\ \mathbf{Z}/2^{a+b}\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/2^a\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/3\mathbf{Z}, & & a = 1, 2, 3, b = 0, 1, \\ \mathbf{Z}/2^a\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/2^a\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/5\mathbf{Z}, & & a = 1, 2, 3, \\ \mathbf{Z}/2^a\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/2^a\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/3\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/3\mathbf{Z}, & & a = 1, 2, 3 \end{aligned}$$

または  $\{O\}, \mathbf{Z}/3\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/3\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/3\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/5\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/7\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/9\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/15\mathbf{Z}$ .

しかしこれらの 31 種類の群すべてが  $E(F)_{\text{tors}}$  として実現されるかどうかは知られていない。

ここでは、 $E(F)_{\text{tors}}$  としてちょうど 20 種類の可能性があることを示す。

定理 1.  $E$  を  $\mathbf{Q}$  上の楕円曲線とし,  $F := \mathbf{Q}(\{\sqrt{m}; m \in \mathbf{Z}\})$  とおく. このとき  $E(F)_{\text{tors}}$  は次の 20 種類の群のいずれかに同型である:

$$\begin{array}{ll} \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/2N\mathbf{Z}, & N = 1, 2, 3, 4, 5, 6, 8, \\ \mathbf{Z}/4\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/4N\mathbf{Z}, & N = 1, 2, 3, 4, \\ \mathbf{Z}/2N\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/2N\mathbf{Z}, & N = 3, 4 \end{array}$$

または  $\{O\}, \mathbf{Z}/3\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/3\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/3\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/5\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/7\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/9\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/15\mathbf{Z}$ . しかもこれらの各群を  $E(F)_{\text{tors}}$  として実現するような  $\mathbf{Q}$  上の楕円曲線  $E$  が存在する.

記号.  $F := \mathbf{Q}(\{\sqrt{m}; m \in \mathbf{Z}\})$ ;

$\mathcal{O}_F$ :  $F$  の代数的整数のなす環;

$E^D$ :  $E$  の  $D$ -quadratic twist ( $D$ : square-free な整数).

$A$  を有限生成アーベル群,  $p$  を素数とするとき,

$A_{\text{tors}}$ :  $A$  の torsion 部分群,

$A_{(p)}$ :  $A_{\text{tors}}$  の  $p$  シロー部分群,

$A_{(2^r)}$ :  $A_{\text{tors}}$  の奇数位数の元の集合

とかく.

## 2 巡回群でない場合

$E$  を  $\mathbf{Q}$  上定義された楕円曲線とする.  $E(\mathbf{Q})_{\text{tors}}$  が巡回群でない場合には, torsion 部分群  $E(F)_{\text{tors}}$  は完全に分類できる.

定理 2.1. [1, Theorem 1]  $E$  を

$$E: y^2 = x(x+M)(x+N), \quad M, N \in \mathbf{Z}, M > N,$$

で定義された  $\mathbf{Q}$  上の楕円曲線とする.  $\gcd(M, N)$  を square-free な整数または 1 と仮定する. このとき  $E(F)_{\text{tors}}$  は次のように分類される:

(a)  $E(\mathbf{Q})_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/8\mathbf{Z}$  のとき,  $E(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/4\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/16\mathbf{Z}$ .

(b)  $E(\mathbf{Q})_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/6\mathbf{Z}$  のとき,  $E(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/4\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/12\mathbf{Z}$ .

(c)  $E(\mathbf{Q})_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/4\mathbf{Z}$  のとき,  $E(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/4\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/8\mathbf{Z}$  または  $\mathbf{Z}/8\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/8\mathbf{Z}$ . この場合,  $M, N$  ともに squares であると仮定してよい. このとき,  $E(F)_{\text{tors}}$

$\simeq \mathbf{Z}/8\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/8\mathbf{Z}$  となるための必要十分条件は,  $M - N$  が square となる (このことは  $E^{-1}(\mathbf{Q})_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/4\mathbf{Z}$  なることと同値である) ことである.

(d)  $E(\mathbf{Q})_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/2\mathbf{Z}$  のとき,  $E(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/4\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/4\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/4\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/8\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/8\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/8\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/4\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/12\mathbf{Z}$  または  $\mathbf{Z}/4\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/16\mathbf{Z}$ . この場合,  $E(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/4\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/4\mathbf{Z}$  となるための必要十分条件は, すべての square-free な整数  $D$  に対して  $E^D(\mathbf{Q})_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/2\mathbf{Z}$  となることである. そうでないとき,  $E(F)_{\text{tors}}$  は  $E^D(\mathbf{Q})_{\text{tors}} \not\simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/2\mathbf{Z}$  なる  $D$  に対して  $E^D(\mathbf{Q})_{\text{tors}}$  ( $E^D(\mathbf{Q})_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/4\mathbf{Z}$  なる場合にはさらに  $E^{-D}(\mathbf{Q})_{\text{tors}}$ ) の type(s) のみに依存して決まる.

定理 2.1 の証明は, 主に次の 3 つの補題を使ってなされる.

**補題 2.2.** ([2, Theorem 4.2, p. 85])  $k$  を標数が 2, 3 でない体,  $E$  を

$$E: y^2 = x(x + \alpha)(x + \beta), \quad \alpha, \beta \in k,$$

で定義された  $k$  上の楕円曲線とする. このとき, 点  $P = (x, y) \in E(k)$  が  $E(k)$  に 2 等分点をもつための必要十分条件は,  $x, x + \alpha, x + \beta$  がすべて  $k$  で squares となることである.

**補題 2.3.** [1, Lemma 3.1]  $R := \mathbf{Z}[\{\sqrt{m}; m \in \mathbf{Z}\}]$  とおく. 非負整数  $d$  に対し,  $\mathcal{O}_F$  の元  $a$  の  $\mathbf{Q}$  上の次数が  $2^d$  ならば,  $2^d a \in R$  となる.

**補題 2.4.** [1, Lemma 3.2]  $\mathcal{O}_F$  の元  $a$ , 奇素数  $l$ , 非負整数  $i$  に対し,  $\mathcal{O}_F$  において, もし  $l^i \sqrt{l}$  が  $a^2$  を割り切るならば,  $l^{i+1}$  もまた  $a^2$  を割り切る.

**注意 2.5.**  $E(\mathbf{Q})_{\text{tors}}$  が巡回群でない場合には, より一般に  $F$  に含まれる任意の代数体  $K$  に対して,  $E/\mathbf{Q}$  の torsion 部分群  $E(K)_{\text{tors}}$  を  $M, N$  を使って分類することができる ([1, Section 5]). 特に,  $E(\mathbf{Q})_{\text{tors}}$  と  $E(F)_{\text{tors}}$  の “間” の各 type を  $E(K)_{\text{tors}}$  として実現するような楕円曲線  $E/\mathbf{Q}$  と体  $K = \mathbf{Q}(\sqrt{D_1}, \dots, \sqrt{D_n})$  ( $n \leq 4$ ) が存在する.

### 3 巡回群の場合

本節では, 定理 1.1 に現れる群で定理 1 にあげられていないものは  $E(F)_{\text{tors}}$  として実現され得ないことを示す.

次の補題は, 補題 2.3 と 2.4 を使えば容易に示される.

補題 3.1. 任意の 0 でない整数  $D$  に対し,  $\sqrt{D\sqrt{-1}}$  は  $F$  で square でない.

$E(F) \supset \mathbf{Z}/2\mathbf{Z}$  ならば  $E(\mathbf{Q}) \supset \mathbf{Z}/2\mathbf{Z}$  であることに注意すれば, 補題 2.2 と 3.1 を使って次が示される.

命題 3.2.  $E(\mathbf{Q})_{\text{tors}}$  が巡回群ならば,  $E(F) \not\supset \mathbf{Z}/8\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/8\mathbf{Z}$  が成り立つ.

除くべき群は, 残り 4 types である.

命題 3.3.  $E$  を  $\mathbf{Q}$  上の楕円曲線とすると,  $E(F)_{\text{tors}}$  は次のいずれとも同型になり得ない:

$$\mathbf{Z}/4\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/32\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/4\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/24\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/12\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/12\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/4\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/20\mathbf{Z}.$$

証明は, 次の補題を使って, 次数 2 の  $\mathbf{Q}$ -isogeny により  $E(\mathbf{Q}) \supset \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/2\mathbf{Z}$  なる場合に帰着させることによってなされる.

補題 3.4.  $E(\mathbf{Q})_{\text{tors}}$  が巡回群のとき,  $E(F) \supset \mathbf{Z}/4\mathbf{Z}$  であるための必要十分条件は,  $E^D(\mathbf{Q}) \supset \mathbf{Z}/4\mathbf{Z}$  となるような  $D$  (square-free な整数または 1) が存在することである.

例えば, もし  $E(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/12\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/12\mathbf{Z}$  と仮定すると, 補題 3.4 によって  $E(\mathbf{Q})$  は位数 4 の点  $P$  を含むと仮定してよい.  $E' := E/\langle [2]P \rangle$  とおくと,

$$E'(\mathbf{Q}) \supset \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \quad \text{かつ} \quad E'(F) \supset \mathbf{Z}/3\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/3\mathbf{Z}$$

となるが, これは定理 2.1 に反する. 従って  $E(F)_{\text{tors}} \not\supset \mathbf{Z}/12\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/12\mathbf{Z}$  が分かる.

## 4 定理 1 に現れる群の例

[3] ですでに,

$$\mathbf{Z}/5\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/7\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/9\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/15\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/3\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/3\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/6\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/6\mathbf{Z}$$

の各 type を  $E(F)_{\text{tors}}$  として実現するような楕円曲線  $E/\mathbf{Q}$  の存在が分かっている. また, 楕円曲線  $E_1: y^2 + y = x^3 + x^2$  (導手 43) は  $E_1(\mathbf{Q})_{\text{tors}} = \{O\}$  を満たし, かつ, その  $\mathbf{Q}$ -isogeny 類には  $\mathbf{Q}$  同型類が一つしか存在しないので  $E_1(F)_{\text{tors}} = \{O\}$  であり, 楕円曲線  $E_3: y^2 = x^3 - 4$  は  $E_3(\mathbf{Q})_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/3\mathbf{Z}$  を満たし, かつ, すべての square-free な整数  $D$  に対し  $E_3^D(\mathbf{Q})_{\text{tors}} = \{O\}$  を満たすので  $E_3(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/3\mathbf{Z}$  である. これらのことは次の補題から即座に分かる.

補題 4.1.  $E$  を  $\mathbf{Q}$  上定義された楕円曲線をするとき, 異なる整数  $D_1, \dots, D_m$  (square-free または 1) が存在して次を満たす:

$$E(F)_{(2')} \simeq E^{D_1}(\mathbf{Q})_{(2')} \oplus \cdots \oplus E^{D_m}(\mathbf{Q})_{(2')}.$$

さらに, 各群  $E^{D_i}(\mathbf{Q})_{(2')}$  は  $E(F)_{(2')}$  のある  $\mathbf{Q}$  有理部分群と同型である.

さらに定理 2.1 において,

$$\mathbf{Z}/4\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/4\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/4\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/8\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/8\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/8\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/4\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/12\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/4\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/16\mathbf{Z}$$

の各 type を  $E(F)_{\text{tors}}$  として実現するような楕円曲線  $E/\mathbf{Q}$  の存在も分かっている. 従って後は,

$$\begin{aligned} &\mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/10\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/6\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/12\mathbf{Z}, \\ &\mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/2\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/4\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/8\mathbf{Z}, \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/16\mathbf{Z} \end{aligned}$$

について, 同じく  $E/\mathbf{Q}$  の存在を言えばよい.

(i)  $E(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/10\mathbf{Z}$ .  $E/\mathbf{Q}$  を  $E(\mathbf{Q})_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/10\mathbf{Z}$  なる楕円曲線とすると, 定理 1.1 と命題 3.2, 3.3 より  $E(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/10\mathbf{Z}$  であることが分かる.

(ii)  $E(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/6\mathbf{Z}$ .  $E: y^2 = x^3 + 1$  とすると,  $E(\mathbf{Q})_{\text{tors}} = \langle (2, 3) \rangle \simeq \mathbf{Z}/6\mathbf{Z}$  であり, すべての square-free な整数  $D$  に対し  $E^D(\mathbf{Q})_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z}$  が成り立つので, 補題 3.4 より  $E(F)_{(2)} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/2\mathbf{Z}$  であり, 補題 4.1 より,  $E(F)_{(2')} \simeq \mathbf{Z}/3\mathbf{Z}$  であることが分かる. 従って,  $E(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/6\mathbf{Z}$  である.

ここで, 簡単な補題を準備する (証明は補題 2.2 を使えば容易になされる).

補題 4.2.  $E$  を

$$E: y^2 = x(x + a + b\sqrt{c})(x + a - b\sqrt{c}), \quad a, b \in \mathbf{Z}, c: \text{square-free な整数},$$

で与えられた  $\mathbf{Q}$  上の楕円曲線とし,  $Q_1 := (-a - b\sqrt{c}, 0)$ ,  $R_1 := (-a + b\sqrt{c}, 0)$  とおく. このとき,  $Q_1 \in 2E(F)$  (これは  $R_1 \in 2E(F)$  と同値である) ならば  $c = -1$  である.

(iii)  $E(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/12\mathbf{Z}$ .  $E: y^2 = x(x^2 + 1177x + 50186)$  とすると,  $E(\mathbf{Q})_{\text{tors}} = \langle (0, 0) \rangle \simeq \mathbf{Z}/12\mathbf{Z}$  である.  $f(x) := x^2 + 1177x + 50186$  とおけ

ば,  $f(x)$  の判別式 1184585 の square-free part は  $-1$  ではないので, 補題 4.2 より  $E(F) \not\cong \mathbf{Z}/4\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/4\mathbf{Z}$  である. 従って,  $E(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/12\mathbf{Z}$  が分かる.

(iv)  $E(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/2\mathbf{Z}$ .  $E: y^2 = x(x^2 - 2)$  とすると,  $E(\mathbf{Q})_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z}$  であり, すべての square-free な整数  $D$  に対し  $E^D(\mathbf{Q})_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z}$  が成り立つ. 従って, 補題 3.4 と 4.1 から  $E(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/2\mathbf{Z}$  が分かる.

(v)  $E(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/4\mathbf{Z}$ .  $E: y^2 = x(x-1+2\sqrt{-2})(x-1-2\sqrt{-2})$  とすると,  $E(\mathbf{Q})_{\text{tors}} = \langle P_2 \rangle \simeq \mathbf{Z}/4\mathbf{Z}$  ( $P_2 := (3, 6)$ ) であり, 補題 4.2 より  $Q_1 := (1-2\sqrt{-2}, 0) \notin 2E(F)$  が分かるので,  $E(F) \not\cong \mathbf{Z}/4\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/4\mathbf{Z}$  である.  $1+\sqrt{-2}$  は  $F$  で square ではないので, 補題 2.2 から  $P_2 \notin 2E(F)$  が分かり. 同様に  $P_2 + Q_1 \notin 2E(F)$  も分かるので,  $E(F) \not\cong \mathbf{Z}/8\mathbf{Z}$  である. よって,  $E(F)_{(2)} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/4\mathbf{Z}$  が分かる. すべての square-free な整数  $D$  に対し  $E^D(\mathbf{Q}) \not\cong \mathbf{Z}/3\mathbf{Z}$  となることは, [4] の Theorem (III) を使えば容易に示される. 従って, 補題 4.1 から  $E(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/4\mathbf{Z}$  が分かる.

(vi)  $E(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/8\mathbf{Z}$ .  $E: y^2 = x(x-62+6\sqrt{-7})(x-62-6\sqrt{-7})$  とすると,  $E(\mathbf{Q})_{\text{tors}} = \langle P_3 \rangle \simeq \mathbf{Z}/8\mathbf{Z}$  ( $P_3 = (32, 192)$ ) であり, 補題 4.2 より  $Q_1 := (62-6\sqrt{-7}, 0) \notin 2E(F)$  が分かるので,  $E(F) \not\cong \mathbf{Z}/4\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/4\mathbf{Z}$  である.  $5-\sqrt{-7}$  は  $F$  で square ではないので, 補題 2.2 から  $P_3 \notin 2E(F)$  が分かり, 同様に  $P_3 + Q_1 \notin 2E(F)$  も分かるので,  $E(F) \not\cong \mathbf{Z}/16\mathbf{Z}$  である. よって,  $E(F)_{(2)} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/8\mathbf{Z}$  が分かる. 従って, 定理 1.1 より  $E(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/8\mathbf{Z}$  が分かる.

(vii)  $E(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/16\mathbf{Z}$ .  $E: y^2 = x(x^2 - 47x + 16^3)$  とすると,  $E(\mathbf{Q})_{\text{tors}} = \langle (16^2, 15 \cdot 16^2) \rangle \simeq \mathbf{Z}/8\mathbf{Z}$  である.  $E(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/16\mathbf{Z}$  であることは次の事実から従う:

$$E(\mathbf{Q})_{\text{tors}} = \langle P \rangle \simeq \mathbf{Z}/8\mathbf{Z} \text{ とするとき, もし } E' := E/\langle [4]P \rangle \text{ が } E'(\mathbf{Q})_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/8\mathbf{Z} \text{ を満たすならば, } E(F)_{\text{tors}} \simeq \mathbf{Z}/2\mathbf{Z} \oplus \mathbf{Z}/16\mathbf{Z} \text{ である.}$$

## 参考文献

- [1] Y. Fujita, Torsion subgroups of elliptic curves with non-cyclic torsion over  $\mathbf{Q}$  in elementary abelian 2-extensions of  $\mathbf{Q}$ , preprint.
- [2] A. W. Knapp, *Elliptic Curves*, Princeton Univ. Press, Princeton, NJ, 1992.

- [3] M. Laska and M. Lorenz, Rational points on elliptic curves over  $\mathbf{Q}$  in elementary abelian 2-extensions of  $\mathbf{Q}$ , *J. Reine Angew Math.* 355 (1985), 163–172.
- [4] D. Qiu and X. Zhang, Explicit classification for torsion subgroups of rational points of elliptic curves, *Acta Math. Appl. Sinica (English Ser.)* 18 (2002), 539–548.